

(別紙)

在日韓国人遺骨送還のための
韓国出張報告

46, 11, 22

北平, 44内

1. 日程

11月18日 東京発(汽車) 下関着(同海)

19日 11:00 遺骨送還(厚生省待合上り)

12:00 遺骨と船に積込み

17:00 下関出航

20日 7:30 釜山着 直ちに遺骨を搬送

遺骨室に安置 諸般整頓

9:00 釜山埠頭発 釜山入

11:30 遺骨引渡し

21日 10:00 遺族代表 鄭代表訪

13:00 釜山発 帰国

2. 遺骨輸送について

18日 11:30

(1) 厚生省発 バスにて(厚生省2名同乗)

下関埠頭着(19日 8:00着)

予定時刻より4時内早く到着

(A) 南釜石- 前日乗務、韓在下南韓国領事
山口県援護隊員等の協力と得て、12:00

南釜石連絡船1隻船室2室に~~船客~~と~~貨物~~

(i) NHK、及び地元山口県放送の記者
乗船状況と環境、20名を乗せて、外務省
及び厚生省の船を準備。

(ii) ~~乗客~~乗船。降は、船長の志望に付て。

釜山にて

(1) 7:20 A 7:30 釜山埠頭接岸。

直ちに、乗客より先に、釜南石- 韓領事
船長志望に付て下船。乗客室に~~乗客~~

(2) 報道関係者約10名主として~~船客~~代表者等
に案内集中。44名には、今までどうに~~乗客~~
おられたか、2300の55 246枚
は~~乗客~~おられたか？との2套の乗
客案内。正当な乗客がおれば何時に
も~~乗客~~おられたと説明した。

(3) 釜山沿岸の~~船客~~及び~~乗客~~代表の~~乗客~~
乗客には、乗客案内に若干欠けた。

3
(二) 9:00 すぎ、釜山埠頭で(遺骨はバス)

金水車に 9:30 頃着、直ぐの同車に乗車し、

8 柱の箱を積みこみ、1 体づつ、こすり作業を

進め、午後 5 時過ぎ、釜山港に到着。

11:00 頃 同作業を終了。

(三) (柱の) を数壇にわけたところ、

かなり立派なものとなった。

3. 遺骨の引渡し

(1) 11:30 より、日本側、在韓 楊瓜参相官

在釜山、松本参事、4 人、韓国側 鄭遺族会

代表、同遺族会長、保健社会部参官(衛生

管理官室 環境衛生担当官) 及び外務部参

官(東北亞州課 金参事官) との間で、遺骨

と奉告した金水車に於て、遺骨 246 体及び

釜山大使の寸支 246 万ウソンの引渡しを行った

(金収受書に別添の通り)

(2) この際、[REDACTED]より釜山大使の寸支は、日

本政府から、本館会からの問合せあり、同大使

からの個人的な平慰表明の寸支である旨を答

(3) このあと、焼香を行った後、

4. 都民の管内来訪

管内の出發前 都民からの訪合にたいしての
おとあにたいし、ホテルにて訪合した検査

(1) 本件にかゝる患者は 韓国政府に
おしあをさる考にたつた。

(2) いかん、これもおかたにたつたので、
日本政府にたいし 考慮にたつたにたつた
と たいにくきに 申入した。あつた。

(3) これにたいし 管内より 訪合の患者は、検査
すたにたいし たいにたつた。

(4) たいに、この際 都民から、今後は 約60日
後には 200名位の はん手種まを 行
にたいし たいにたつた。明日から 3日
本かいて はんまに 韓国政府に たい
かいて たいにたつた。この訪合にたつた。

(5)

都民は

はんまに、これか、はんまに はんまに
とつた 本日の はんまに はんまに はんまに
あつた。

受領証

旧日本軍人、軍属等の韓国人遺骨二四六柱（別添名簿記載のと
かり）

右正に受領いたしました。

一九七一年一月二〇日

遺族代表として

財団法人釜山靈園

理事長 鄭

基 榮